エコアクション２１

環境経営レポート

令和4年度

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省
エコアクション21
認証番号0008942

活動期間：令和4年9月1日～令和5年8月31日

関口建設　株式会社

令和5年10月16日発行

目　次

1　概要、範囲 …… 1

2　環境経営方針 …… 2

3　実施体制 …… 3

4　環境経営目標 …… 4～7

5　環境活動計画 …… 8

6　環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組 …… 9

7　実績評価 …… 10

8　環境関連法規制 …… 11

9　緊急事態の試行・訓練・対応手順 …… 12

10　代表者による全体の評価と見直し・指示 …… 13

1. 組織の概要、対象範囲

■ 1)事業者及び代表者名

関口建設株式会社　　代表取締役　関口 正昭

■ 2)所在地

本社:静岡県御殿場市西田中439－11

営業所:御殿場市ぐみ沢889-1

■ 3)環境管理責任者氏名及び担当連絡先

環境管理責任者　森 恵美

連絡先　電 話　0550-84-0295
FAX　0550-89-6190

■ 4)事業内容

土木工事、とび・土工工事、石工事、舗装工事、
鋼構造物工事、しゅんせつ工事、塗装工事、水道施設工事

■ 5)事業の規模

創 業	平成7年
資 本 金	500万円
売上高	145百万円(R4年度)
従業員数	8人

※エコアクション21の対象範囲は、当社における
すべての組織及びすべての活動とする

2. 環境経営方針

＜企業理念＞

当社は、建設業者として日々の業務を通じて、地域の環境改善及び、汚染等の予防を実施し、地域社会に貢献します。
環境マネジメントシステムを構築・運営・維持し、継続的改善を図ります。

＜環境方針＞

１．以下の事項について実施します。

①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
電力や燃料の削減に努めます

②廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
・一般廃棄物及び産業廃棄物の排出抑制、再資源化の推進

③排水量の削減（水資源の保全）
・節水活動の実施

④施工現場において、騒音や振動の抑制など近隣住民へ配慮した施工に努めます。

２．環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

３．環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

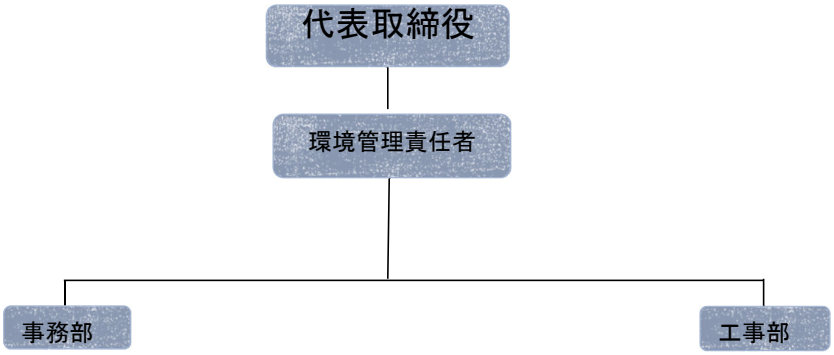
制定日：2012年5月25日
改定日：2023年5月19日

関口建設株式会社　代表取締役

関口　正昭

作成者：環境管理責任者
作成日：2012年5月25日

3. 関口建設株式会社エコアクション21実施体制



各役割、責任、権限

	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境負荷の自己チェック、取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成
各部門長	・環境経営システムの実施 ・環境方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施、、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標

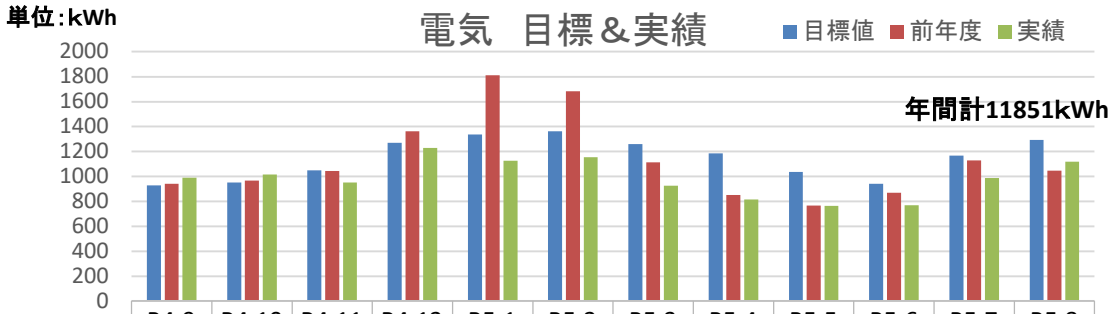
年月	2018年9月～ 2019年8月	2022年9月～ 2023年8月	2023年9月～ 2024年8月	2024年9月～ 2025年8月	2025年9月～ 2026年8月
電気の使用抑制 (kg-CO2)	基準 6,532	1%削減 6,467	2%削減 6,401	3%削減 6,336	4%削減 6,271
ガソリンの使用 抑制(kg-CO2)	基準 15,860	1%削減 15,701	2%削減 15,543	3%削減 15,384	4%削減 15,226
軽油の使用抑制 (kg-CO2)	基準 30,315	1%削減 30,012	2%削減 29,709	3%削減 29,406	4%削減 29,102
水の使用抑制 (m3)	基準 315	節水に努める 312	節水に努める 312	節水に努める 312	節水に努める 312
産業廃棄物の 再資源化率	基準 100%	100%	100%	100%	100%
施工における騒音、振動の防止		・施工現場において、低騒音・低振動の重機を使用する。 ・各現場のパトロールを実施する。 ・下請業者に教育を行う			

※0.469kg-CO2/kWh　au電気（平成29年）調整後排出係数

当社において化学物質の使用はありません。
今後、管理すべき化学物質を含む資材を使用する際は、SDSを取り寄せ、選定し、より環境によい資材を使用をする。

4. 環境経営目標・実績　電気

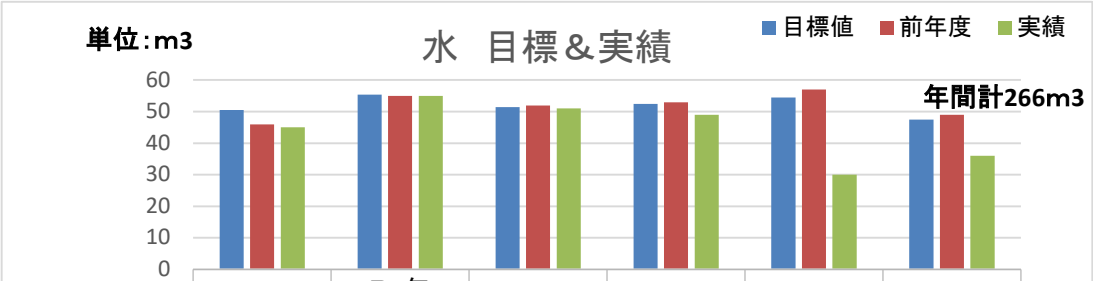
年	2018年9月～2019年8月	2022年9月～2023年8月	2023年9月～2024年8月	2024年9月～2025年8月	2025年9月～2026年8月
電気の使用抑制（kg-CO2）	基準 6,532	1%削減 6,467	2%削減 6,401	3%削減 6,336	4%削減 6,271



	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
目標値	928.62	952.38	1050.4	1269.2	1337.5	1362.2	1260.3	1185	1037.5	942.48	1168.2	1293.9
前年度	942	968	1043	1363	1812	1684	1114	852	767	869	1130	1047
実績	991	1016	951	1228	1127	1155	926	815	764	770	989	1119

4. 環境経営目標・実績　水

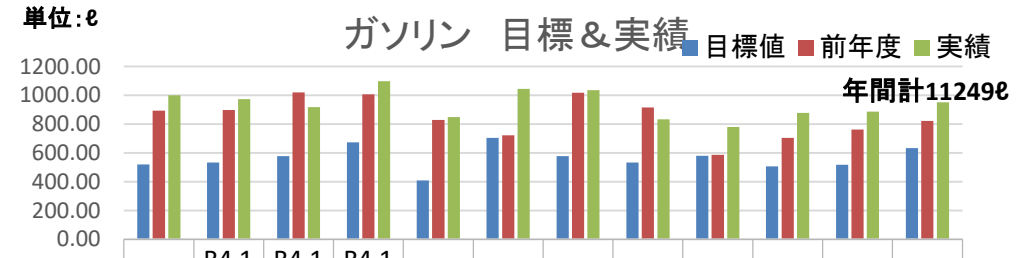
年	2018年9月～2019年8月	2022年9月～2023年8月	2023年9月～2024年8月	2024年9月～2025年8月	2025年9月～2026年8月
水の使用抑制（m3）	基準 315	節水に努める	節水に努める	節水に努める	節水に努める



	R4年9.10	R4年11.12	R5年1.2	R5年3.4	R5年5.6	R5年7.8
目標値	50.49	55.44	51.48	52.47	54.45	47.52
前年度	46	55	52	53	57	49
実績	45	55	51	49	30	36

4. 環境経営目標・実績　ガソリン

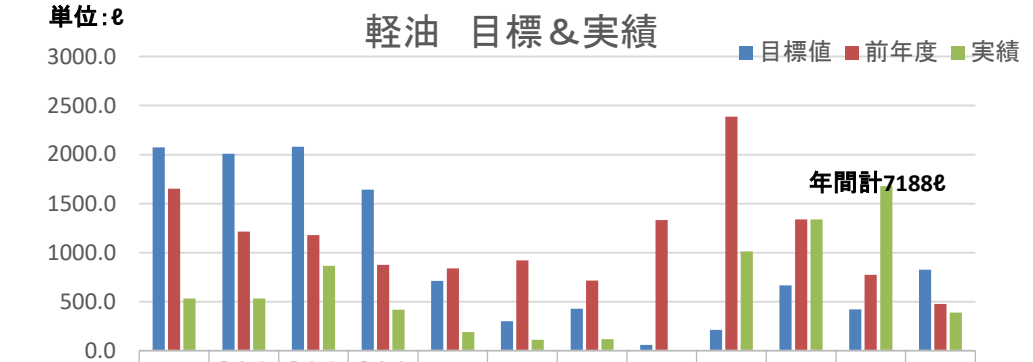
年 日	2018年9月～2019年8月	2022年9月～2023年8月	2023年9月～2024年8月	2024年9月～2025年8月	2025年9月～2026年8月
ガソリンの使用抑制(kg-CO2)	基準 15,860	1%削減 15,701	2%削減 15,543	3%削減 15,384	4%削減 15,226



	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
目標値	519.3	532.3	576.4	673.8	408.6	704.6	578.6	532.8	579.3	506.0	517.0	633.7
前年度	893.1	897.0	1021.	1006.	829.6	723.0	1018.	914.6	586.5	704.7	761.7	821.9
実績	1000.	972.6	918.8	1097.	849.5	1045.	1035.	832.6	779.5	878.3	886.3	952.1

4. 環境経営目標・実績　軽油

年	2018年9月～2019年8月	2022年9月～2023年8月	2023年9月～2024年8月	2024年9月～2025年8月	2025年9月～2026年8月
軽油の使用抑制(kg-CO2)	基準 30,315	1%削減 30,012	2%削減 29,709	3%削減 29,406	4%削減 29,102

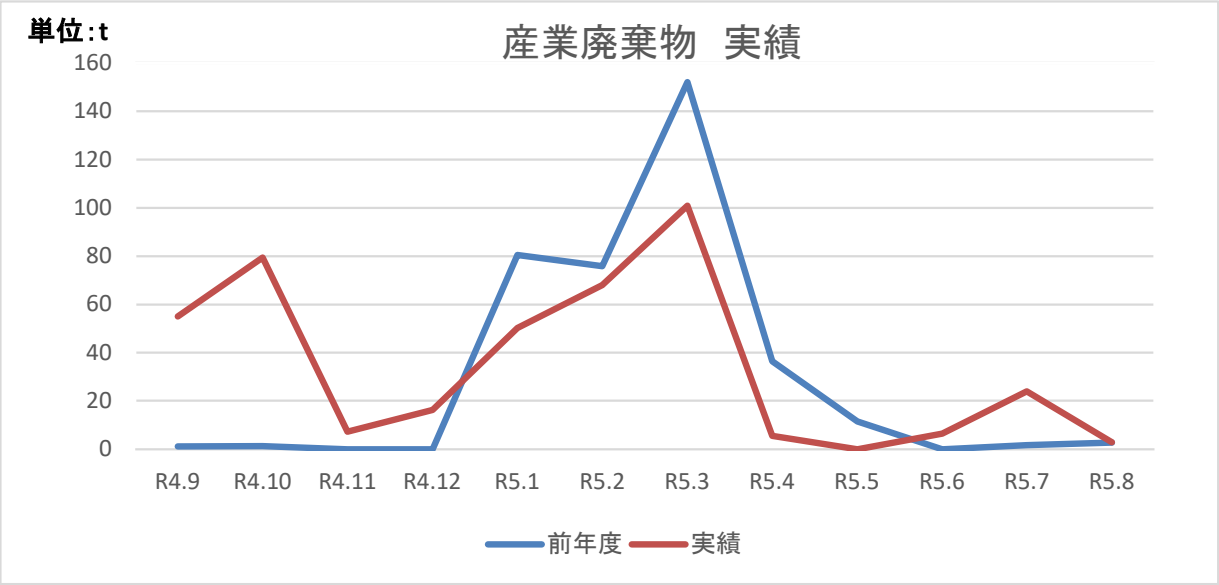


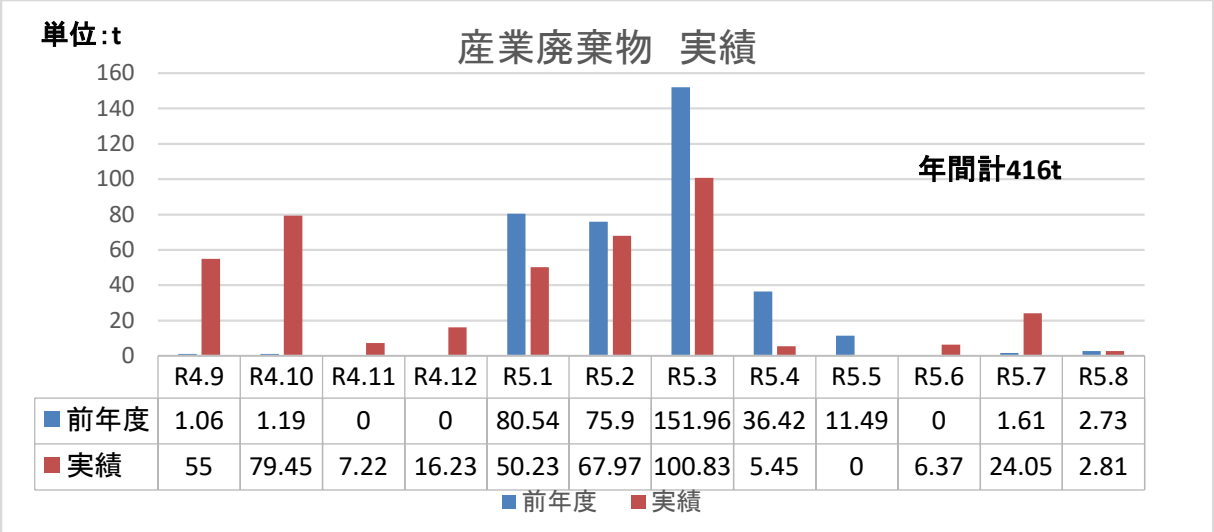
	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
目標値	2073.	2009.	2081.	1643.	710.6	301.2	428.7	58.4	212.9	666.3	422.7	827.6
前年度	1651.	1214.	1180.	876.7	838.0	920.0	715.1	1332.	2386.	1339.	774.4	477.0
実績	532.0	534.0	866.5	417.3	190.7	110.0	117.0	0.0	1013.	1340.	1677.	389.7

4. 環境経営目標・実績　産業廃棄物

年	2018年9月～ 2019年8月	2022年9月～ 2023年8月	2023年9月～ 2024年8月	2024年9月～ 2025年8月	2025年9月～ 2026年8月
産業廃棄物の抑制(t)	基準 568.53t	実績 415. 61t	実績	実績	
産業廃棄物の再資源化率	基準 100%	100%	100%	100%	100%

※目標は策定せずに、再資源化率を目標とする。





	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
前年度	1.06	1.19	0	0	80.54	75.9	151.96	36.42	11.49	0	1.61	2.73
実績	55	79.45	7.22	16.23	50.23	67.97	100.83	5.45	0	6.37	24.05	2.81

5. 環境活動計画

（運用期間：2022年9月～2023年8月）

目的	区分	項目	責任者	活動項目	スケジュール											
					9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	事務部門	不在時、不要照明の消灯												
				節電標語の掲示												
				ブラインドやカーテンの活用												
		OA機器		長時間不在の時はPC電源OFF												
		空調		空調の設定温度　冷房28度　暖房22度												
				照明機器のLED化（2階は完了）												
				エアコンのフィルター清掃	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初
				クールビズ、ウォールビズ												
	ガソリン	乗用車	工事部門	エコドライブの徹底　アイドリングストップ												
		トラック		日常点検の実施												
	軽油	重機		低排出ガス仕様の重機を優先的に使用する												
産業廃棄物のリサイクル	事務所	事務所	事務部門	コピー用紙両面使用												
				廃棄物分別とリサイクル												
				FAXは内容を確認して必要なものだけプリントする												
	現場	現場	工事部門	マニフェストの管理												
				手直しによる無駄な廃棄物を出さない												
				教育の実施で廃棄物の分別の周知徹底												
節水		事務所	事務部門	節水に努める												
				節水こまの取付け												
		現場	工事部門	漏水の確認												
環境配慮工事		現場	工事部門	各現場においてパトロールを実施する												
				低騒音、低振動の重機を使用する												

6. 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

（運用期間：2022年9月～2023年8月）

目的	区分	項目	責任者	活動項目	取組状況				取組評価	次年度の取組内容
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月		
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	事務部門	不在時、不要照明の消灯	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
				節電標語の掲示	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
				ブラインドやカーテンの活用	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
		OA機器		長時間不在の時はPC電源OFF	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
		空調		空調の設定温度　冷房28度　暖房26度	○	○	○	△		継続実施する
				照明機器のLED化	—	—	—	—		未定
				エアコンのフィルター清掃	○	—	○	○	実施できた	継続実施する
				クールビズ、ウォールビズ	○	○	○	○	実施できた	継続実施する
	ガソリン	乗用車	工事部門	エコドライブの徹底　アイドリングストップ	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
		トラック		日常・定期点検の実施	○	○	○	○	実施できた	継続する
	軽油	重機		低排出ガス仕様の重機を優先的に使用する	○	○	○	○	徹底できた	継続する
産業廃棄物のリサイクル	事務所	事務所	事務部門	コピー用紙両面使用	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
				廃棄物分別とリサイクル	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
				FAXは内容を確認して必要なものだけプリントする	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
	現場	現場	工事部門	マニフェストの管理	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
				手直しによる無駄な廃棄物を出さない	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
				教育の実施で廃棄物の分別の周知徹底	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
節水		事務所	事務部門	節水に努める	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する
				節水こまの取付け	—	—	—	—		未定
		現場	工事部門	漏水の確認	△	○	○	○	実施できた	継続実施する
環境配慮工事		現場	工事部門	各現場においてパトロールを実施する	○	○	○	○	実施できた	継続実施する
				低騒音、低振動の重機を使用する	○	○	○	○	徹底できた	継続実施する

○：よくできた　△：まあまあできた　×：できなっかた　—：実施が見送られた

7. 実績と評価

	目標値	実績	基準年比（%）	達成/未達成	コメント
電気の使用 (kg—CO2)	6,467 13778kWh	5,558 11851kWh	86.0	達成	達成できた。
ガソリンの使用 (kg—CO2)	15,701 6763ℓ	26,097 11248.79ℓ	166.2	未達成	昨年度と同様で遠距離の現場が多かった事が主要因と思われる。
軽油の使用 (kg—CO2)	30,012 11436ℓ	18,558 7193.11ℓ	61.8	達成	達成できた。
水の使用（ m3 ）	312 節水に努める	266	85.3		現状把握できている。
産業廃棄物の再資源化率	100.0	415.61t	100.0	達成	再資源率100%達成できている。
施工における騒音、振動の防止	低騒音・低振動の重機を使用し、騒音対策をして近隣に迷惑がかからないように工夫した。各現場のパトロールは社長を中心に95%行った。				

9.　環境関連法規等の遵守状況

遵守実施日2023/6/26

確認者 森恵美

環境関連法令項目	内　　容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・ 産業廃棄物の処理は、知事の許可を得た有資格業者へ委託する ・ 産業廃棄物の委託は、書面で委託契約（料金関係についての記載が必要）を結び、契約完了後5年間保管する。 ・ 産業廃棄物の処理委託にマニフェスト交付 ・ マニフェストの写しを90日以内に受取る。 ・ 最終処分処理終了報告マニフェストを180日以内に受取る。 ・ マニフェストの写しを5年間保存する ・ マニフェストを交付した際には前年度の交付状況を毎年6月30日までに交付状況報告書を都道府県知事に提出する。 ・ 前年度の排出量が1,000ｔを越えた事業者は毎年、6月30日までに削減計画書を都道府県知事に提出する。 ・ 混合廃棄物処理BOXに60×60の表示看板設置	適合
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	特定建設資材（コンクリート（プレキャスト板等を含む。）、アスファルト・コンクリート、木材）を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって一定規模以上の建設工事（対象建設工事）について、 ・建設資材廃棄物の発生を抑制するとともに、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用を低減するよう努める ・建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する ・対象建設工事の届出義務	適合
静岡県産業廃棄物の適正な処理 に関する条例	・産業廃棄物管理責任者の設置 ・産業廃棄物処理の委託先の実地確認とその記録の保存 ・不適正な処理が行われた場合に必要な措置の実施	適合
特定特殊自動車排出ガス規制法	特定特殊自動車は、基準適合表示又は少数特例表示が付されたものでなければ、使用してはならない。	適合
騒音規制法	・ 特定建設作業や、地域、時間区分に対する騒音基準の順守	適合
振動規制法	・ 特定建設作業や、地域、時間区分に対する振動基準の順守	適合

環境関連法規等の遵守において、違反はありませんでした。
また、関係当局より訴訟、違反等の指摘は過去４年間ありません。

9.　緊急事態の試行・訓練・対応手順

大雨、大雪、台風等の異常気象で災害や事故の発生を想定し訓練する。いずれも社員・現場作業員は近隣の安全を第一に行動できるよう心がける。

緊急事態の想定と対応手順

緊急事態の想定	緊急時の対応	訓練内容
地震・台風異常気象による災害	最新の情報収集	報告及び連絡作業の確認訓練
事務所等の火災	避難指示周囲に火災を知らせる 消防署への火災の通報 可能な限り初期の消火活動	消化器の設置場所と使用方法の確認
作業現場の事故・災害	消防署等関係者への連絡 負傷者の救護 O	使用工具の点検整備 避難場所・避難経路の確認

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

	項目		評価
見直し関連情報	1	エコアクション21文書	問題なし
	2	環境目標及び目標達成状況	問題なし
	3	環境活動計画及び取組実施状況	問題なし
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	問題なし
	5	外部コミニケーション対応記録	問題なし
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	問題なし
	7	取引先、業界、関係行政機関、外部動向	問題なし
	8	その他	特になし

	項目内容	目標値	コメント
目標項目	電気の削減	○	達成できた。
	ガソリンの削減	×	遠方の現場が多かったため。
	軽油の削減	○	達成できた。
	水の削減	○	現状把握できている。
	産業廃棄物排出量削減	○	再資源化は達成できている。

全体評価

今年度もガソリンは目標未達だったが、昨年同様遠距離の現場が多かった事が原因と考えられる。

ガソリン、軽油に関しては、受注内容、現場（施工箇所）など受注した施工内容や工事件数、現場までの距離などにより大きく左右されるため、対応はなかなか難しいが、今後も環境に優しく継続できる事をみつけて、二酸化炭素の削減に努めていきたいと思います。

令和5年10月13日

関口建設株式会社　**代表取締役　関口　正昭**

	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
全体見直し	1	環境経営方針	無し	
	2	環境経営目標・環境経営計画	無し	
	3	環境活動計画・取組項目	無し	
	4	実施体制	無し	
	5	その他外部等への対応	無し	